放射能測定を実施したところ、放射性ヨウ素(ヨウ素131)、放射性セシウム(セシウム134、セシウム137)は下表のとおりとなりました。

このことから、多賀城市の水道水は安心してご使用いただけます。

多賀城市 末の松山浄水場ろ過水放射能測定検査結果表

測定機関:東北大学(協力依頼)

単位:Ba/kg

例と 依因: 宋七八子(lb / lb			# 12 . Dq/ Ng
	末の松山浄水場ろ過水(浄水)		
採水年月日	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
平成27年4月14日	不検出(<0.2)	不検出(<0.2)	不検出(<0.2)
平成27年5月12日	不検出(<0.2)	不検出(<0.2)	不検出(<0.2)
平成27年6月2日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
平成27年7月7日	不検出(<0.2)	不検出(<0.2)	不検出(<0.2)
平成27年8月4日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
平成27年9月1日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
平成27年10月6日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
平成27年11月4日	不検出(<0.4)	不検出(<0.4)	不検出(<0.4)
平成27年12月18日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
平成28年1月5日	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)	不検出(<0.3)
平成28年2月2日	不検出(<0.4)	不検出(<0.4)	不検出(<0.4)
平成28年3月1日	不検出(<0.4)	不検出(<0.4)	不検出(<0.4)

く参考>

- ●不検出とは、測定において検出できる最小値です。 放射能の特性として、同じ機器で測定しても、検体ごとに検出限界値は変動します。 上記、表中の「不検出(<0.6)」とあるのは検出できる最小値が0.6Bq/kg未満であることを意味します。
- ●放射性セシウム(セシウム134+137の合計)
- ・平成24年4月1日から厚生労働省では、食品衛生法に基づく飲料水の基準値が10Bq/kg設定され水道水については放射性セシウムの管理目標値として10Bq/kgが設定されました。

<検査頻度>

- ■自己水源
- ・末の松山浄水場ろ過水(深井戸のため月に1回)
- ■受水水源
- ・仙台市茂庭浄水場浄水(釜房ダム水系のため週に1回)
- ・宮城県仙南・仙塩広域水道浄水(七ケ宿ダム水系のため週に1回)